



ニニ通信

68号 2016.11.20

＜特集＞ 第40回 アイメイト・デー開催

TOPICS

- 地下鉄ホーム事故
アイメイト協会の考察と願い
- 第23回青山学院大学同窓祭
- 光が丘ライオンズクラブ合同募金
- 動物愛護フェアかわさき2016
- 海外でも活躍するアイメイト
シンガポール便り③



協会だより

- ◆ アイメイト卒業生人数
- ◆ 卒業実績が1300組を突破！
- ◆ アイメイト60周年記念ロゴ
- ◆ 協会建物の補修・改装終了



アイメイトと一緒に
登場したのは誰か
な？

連載記事

- 風を切って歩く幸せ (土屋 まさ代さん)
- 後援会員自己紹介 (小山 礼子さん)
- (二宮 瑞江さん)
- (松浦 ひとみさん)



後援会からのお知らせ

- これまでの行事・活動&これから行事・活動
- アイメイト募金芳名録
- 役員会議事抄録
- 会員のページ
- お知らせ アイメイト協会60周年記念サイト
練馬区役所イベント来年も開催
- アイメイトサポートグッズカタログ



秋晴れの江東区民まつり

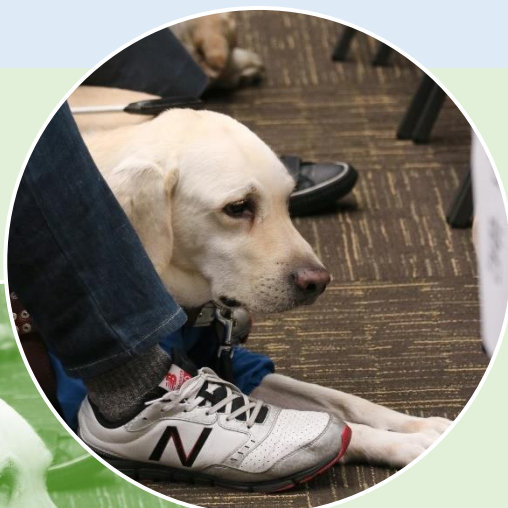
公益財団法人アイメイト協会 第40回アイメイト・デー



第40回

アイメイト・デー開催

2016年10月23日(日)13:00～15:50、TKPガーデンシティ竹橋(東京都千代田区)にて、「第40回アイメイト・デー」が開催されました。参加者は計約260名。うち、アイメイト使用者は42組でした。協会活動の報告や使用者や支援者たちによる「アイメイトを語る」など、相互理解を深める楽しい会となりました。





来賓として、小池百合子東京都知事が登場！それも、アイメイトと一緒に歩いて入場というサプライズ演出に、会場は大いに沸きあがり、たくさんの拍手に包まれました。



JU東京（東京都中古自動車販売商工組合）のゆるキャラ「キャピクル」もアイメイトを応援（上）。鉄道モノマネで会場を沸かせた立川真司さん（下）。



『アイメイト・サポートカレンダー2017 年版』が発売開始となり、会場後方のブースで販売されました。カレンダーは、様々なステージのアイメイトと支える人々の絆をテーマにしており、現役アイメイト、アイメイト候補の子犬、訓練・歩行指導の様子などで構成されています。きれいで愛らしい写真を見ているうちに、自然にアイメイトへの理解が深まる内容になっています。（見開きA3サイズ13枚の中綴じ仕様。税込1,000円）



最寄駅の「竹橋」から会場まで、アイメイト使用者に声で道案内をする「誘導」は後援会員の仕事（上）。また、会場の受付も例年通りサポートしました（左）。

会場に入っすぐ右のスペースに設置されたブースで、アイメイト後援会によるグッズを販売しました。販売を担当したスタッフもすべて後援会員です。この日のグッズ販売は、1日で約27万円の売り上げとなりました。この利益は、後援会を通じて全額アイメイト協会へ寄付されます。

来賓祝辞

ご来賓の国会議員や都知事など
ご祝辞を賜りました。



左から、小池百合子 東京都知事、菅原一秀 衆議院議員、立石晴康 都議会議員、柴崎幹夫 都議会議員、塩村あやか 都議会議員

理事長挨拶

公益財団法人アイメイト協会

代表理事 塩屋隆男



来賓の皆さま、あたたかいご支援のご挨拶
をいただき誠にありがとうございます。

今年7月に修了した歩行指導によって、送り出した
視覚障害者とアイメイトのペアが1300組を越えま
した。現在も歩行指導中ですが、来年の3月までに
16名のクラスが決まっており、今年度末には1320組
に達する予定です。職員一同、心を引き締めて仕事
に務めております。

このようにアイメイト協会が日本一の実績を上げ
続けられるのも、本日ここにご参集くださっている
皆様をはじめ、協会を支えてくださる大勢の方々
のご支援の賜物であります。この場をお借りして改め
て御礼申し上げます。

来年は創設者・塩屋賢一が河相冽さんとチャンピ
オンのペアを送り出してからちょうど60周年になリ
ます。来年のアイメイト・デーは、10月29日の日曜
日に行います。お忙しいとは思いますが、ぜひ
ご予約に組み込んでいただければとお願い申し上



げます。

また、『60周年の記念サイト』を作成しております。
そこには使用者の皆さんのインタビュー等々もどん
どん載せていき、これからの1年間で充実したもの
に仕上げていきたいと、関係者一同、頑張っており
ます。

そして、来年の末には卒業者数が1350組に達する
見込みです。これからもより質の高い、より実用性
のあるアイメイトを送り出すことに努力をしてまい
ります。どうもありがとうございました。

アイメイトを語る

「アイメイトを語る」のスピーチを一部を抜粋して紹介します。

自分の足で自分の人生を歩いている実感

アイメイト使用者 田中正子さん

皆

さんこんにちは。神奈川県川崎市在住の田中正子と申します。足元にありますのは、私の3頭目のアイメイトです。どうぞよろしくお願いいたします。まずは自己紹介をしながら私がアイメイトと歩もうと思ったきっかけをお話しします。

私の出身は石川県の小松市です。小学校・中学校は地元、石川県の盲学校で過ごしました。

右の眼に少しの視力があり、小学校に上がる前までは道を一人で歩いたり、大きな字なら読めていたと思います。ですが、だんだん視力はなくなっていき、小学校の高学年の頃にはすっかり全盲の状態になっていました。かってがわかる学校の中などは見えなくても一人で歩いていましたし、走ってもいましたが、外は見える人につながって歩くようになり、自分の意見や考えを人前で話すのがどちらかという苦手な、主体性はバツ印タイプの子でした。

ところが進路選択の折り、冒険ものの本を何冊か読んでしまったせいでしょうか？旅に出てみようモードになった私は、高校と大学の7年間を東京で過ごすことになります。「あの、頼りなげな子が？ちゃんと生きてるか？」と高1の冬に安否確認に来てくださったのが、石川県の盲学校で教師をしていたアイメイト使用者の先生でした。「ちゃんと白杖歩行ができるようになったな」と先生はお寿司をごちそうしてくれました。そして「自分の足でしっかりと自分の人生を歩きたいと思うなら、将来は犬と歩くことを考えてみたらいい」というようなことを言いました。その先生は若くして亡くなったので、このお寿司屋さんでお会いしたのが最後です。が、先生の言葉がずっとその後私の心にきています。大学3年の夏に道でけがをして、救急車で運ばれ、手術をした経験も、命の心配なく歩きたいという気持ちを強くしました。

大学卒業後は出身県の点字図書館に就職して、アイメイトの申請を出しました。

さあ、自分の人生、自分の足で、と臨んだ歩行訓練



でしたが、これがかなり多難。1頭目のアイメイトとの踏切コースのテストでは、踏切の真ん中あたりでカンカンカンと踏切が鳴り出しました。「どうしよう」もたもたしている間にバーが下りてきました。アイメイトの背丈はバーをくぐれますが、私がまっすぐ行くとバーにひっかかる。アイメイトはくそ真面目に「利口な不服従」を発動！前に進んでくれません。「そんなにまじめに生きてると死んじゃうよ」とかなんとか私は叫びながら外に出ました。

大変なのは1頭目だけではありません。今ではすっかりツーカーの仲の3頭目のアイメイトも歩行訓練はかなり大変でした。朝ご飯を食べに、食堂へ行くだけの廊下で急にストライキ。曲がり角手前2メートルぐらいで止まります。すぐに曲がってしまえば食堂なのに、ぴたっと止まって進みません。「あ〜、あと2メートルなのになぁ…」「この犬、ちゃんと耳聞こえてるのかな？」と心配になるほどでしたが、犬の食事の時の「OK」はよく聞こえている様子。

指導員さんに相談すると、「では数十回、協会のワンツールの場所から廊下へ出るドアを出て、左へ曲がるを繰り返しましょう。絶対にハーネスの引きを感じて、犬について行って。ちゃんと言葉をきいて動いてますよ、褒めて。では自分で決めて右の指示をだしてください」いったい何十回左の指示をだしたかわからない後、私は「ライト」の指示をだしました。この言葉にハーネスが右に引いたときは、うれしくて泣けてきました。

訓練中は多難でも、3頭のアイメイトはその後すっかり私の目となり大活躍です。宿泊をとまなう出

張先のホテルでは、同業者とエレベーターに乗り合わせ、部屋までついてきてもらわずとも「お疲れ様」とエレベーターを降りてそれぞれに自室へ戻る時の快感といったありません。また職場から派遣で行っていた福祉コースのある大学での仕事では、送迎を断って自分の足で出向きました。歩いている私たちに声を掛けてくれる人がどんどん増えて、たくさんのお会いをもらいました。

2頭目のアイメイトとは、一人と一匹で北海道は釧路から稚内までの旅をしました。終バスの乗客が一人降り、二人降り、とうとう私とアイメイトだけになりました。大きな黒い犬と見えない女…。宗谷

岬でバスを降りるとき、バスの運転手さんは、どんなに心配だったことでしょう。

そして、3頭目のアイメイトは金沢に半年居て、その後私の結婚に伴い、一緒にお引っ越し。新しい土地での生活にすぐに馴染めたのも、また新しい場所でも点字図書館の仕事に関わっているのも、アイメイトと歩む日々から生まれた宝物だと感謝しています。

アイメイトと歩むことを選び、私は自分の足で自分の人生をしっかりと歩いている実感があります。アイメイト協会の皆さまはじめ、支援者の皆様に心よりお礼を申し上げて、つたない話を終わります。

出会いは、中学生の時に希望した飼育奉仕

繁殖奉仕者 上町季里子さん

繁

殖犬奉仕をさせていただきました上町季里子です。私と相棒の繁殖犬（雄）との出会いは、15年前、私が中学校の時でした。犬が飼いたくてたまらなかった私が、両親と相談の上、アイメイト協会さんに電話で申し込み、候補犬として我が家に来たのが始まりです。最初は、兄になつてしまい、とても悔しかったのですが、ぬいぐるみのように可愛らしく、表情豊かで、甘え上手、誉められると伸びる、我慢強い賢い子でした。一年間、家族の一員として過ごした後のお別れは、頑張っしてほしいと思いつつも、もう二度と会えないんだ、と悲しくて泣きながら見送りました。

しかし、2カ月後、アイメイト協会から電話があり、「繁殖犬にしたいので、また預かっていただけませんか」と言われました。正直、とてもとても嬉しかったです。喜んだのは私だけではありません。お別れの日、洗面所に一人こもり、ドアを閉めて大泣きした母もそれはそれは喜んでいました。候補犬が繁殖犬として同じ家に戻ることは、とても珍しいことだそうです。この子がアイメイトとして生きていけなかったことが悪かったのか、良かったのかは分かりませんが、与えられた出会いと機会にいつも感謝をしています。

私たち家族は、この子が心も身体も健康でいられるように、散歩や食事、睡眠、耳、爪の手入れには



気をつかいました。繁殖犬としての仕事は、3～5カ月に一度、自宅までアイメイト協会の方が車で迎えに来て、3週間ほど泊まりがけで行っていました。初回のお迎えの時は、後ずさりをする感じでしたが、2回目以降は後ずさりをするどころか、尻尾を左右に大きく振りながらウキウキした様子で車に乗り込んでいました。仕事を終えて家に帰ってくると、激務のためかゆったりと休んでいました。

一度、アイメイトの子どもたちを見せていただいたことがあります。うちの子にそっくりのイエローで、顔も耳もよく似ていて、愛らしかったです。この子は、11月5日に15歳になります。今でも散歩が大好きでよく食べます。身体は確実に老いてますが、元気です。アイメイトの子犬たちも、健康な身体と、人が大好きで人から愛される性格を受け継いでほしいと願っています。

電車や町中で盲導犬を見る度に、ついついじっと

見つめてしまいます。私は、繁殖奉仕がきっかけで視覚障害者のこと、その方たちの生活を豊かにしようとするアイメイト協会さんのことを見つめ、学ばせてもらっています。アイメイト協会さんと出会い、私の相棒と共に過ごす中で、いろいろな人たちが一緒にの時に生きていること、助け合っていること、誰もが一人では生きていけないことを考えさせられています。

私は現在、小学校の教諭をさせていただいています。今私にできることは、子どもたちに、まず盲導犬について正しい知識を教えて理解させることだと思っています。そして、社会にはいろいろな人がい

ることに気づかせ、自分も自分の周りの人たちも明るく楽しい日々を過ごせるために自分ができることを見つけ、行動に移せるように教えていきたいです。私自身、まだまだ上手くいかないことが多いですが、いつかアイメイト協会さんと授業ができればと思っています。

障害があっても自分らしく生きていける社会作りに、今後も私なりに携わっていきたいと思っています。最後になりますが、本日はこのような機会をいただき、ありがとうございました。アイメイト協会さんの益々のご活躍を心より願っております。

飼育奉仕をした人だけの最高のプレゼント

飼育奉仕者 宮 佳奈子さん

夏 になるとひまわり畑でちょっと有名になります。まず栃木県野木町で飼育奉仕をしております。我が家出身の子達は田舎育ちですので、協会に帰ると、車や人、犬の多さにびっくりしていることでしょう。

1 頭目の飼育を始めた頃、幼稚園生だった一人娘は、今では高校1年生となりました。

8月の末に7頭目を協会に送り出し、現在我が家は平和で静かな毎日です。今回お話することになり、しみじみと家の中を見渡してみました。うちにいた子達の置き土産が所々にあり思わず苦笑してしまいました。

テーブル……すごいです!! 長方形ですが、丸みを帯びて参りました。足の部分もあと2頭お預かりしたら、倒れてしまいそうです。

突如一人運動会が始まりますと、全力で走り回りますので、畳は所々ささくれ、フローリングは傷だらけ。ふすまの敷居や障子のさんも噛みごたえバツグンのようです。「どうやって??」と思いましたが、受話器にも歯形がくっきりとついていました。

唯一みんな気を使ってくれたのでしょうか。皮のソファーだけはなんとか無事でしたが、この夏に帰った7頭目の子がついにやってくれちゃいました。などなど、家のあらゆるところが原型を留めていません。



以前主人が会社の人に「盲導犬の候補犬を預かることにした」と話したところ、その方が「ラブラドルを飼うと家が破壊されるぞ!!」と言われたという話を思い出しました。なるほど、こういうことだったのだと。

飼育奉仕を始める前、不思議に思うことがありました。何頭も飼育されている方達の会話です。ありえない悲惨な話をみなさん笑顔で嬉しそうに自慢しあっているではありませんか。

「この人達ちょっと頭がおかしいんじゃないかしら」と思っておりましたが、今では私もそのすっきりおかしい人です。

「ヒュー!!」と悲鳴をあげるようなことを何度もされても憎めないお人柄。いえいえ、お犬柄はさすがアイメイトの血統です。

やらかした本人たちも「もう二度としません」といわんばかりの上目使い。その姿のかわいい～こと。ハートをギュッともっていかれる瞬間です。

お預かりして半年くらいは目の回るような毎日ですが、刺激が欲しい方には飼育奉仕はおすすめです。

よく「一年後のお別れが淋しいでしょう？」と判を押したようにみなさんおっしゃいます。確かに淋しいです。でも何頭目からでしょうか、こういうふうに思えるようになりました。

一年経つと人の気持ちをよく理解しますし、家族のこともよくわかるようになります。朝機嫌が悪く、ヤクザのような娘には一步も近づかないし、仕事のストレスで眉間にシワをよせている主人を遠くで見えています。そして私の話を「お母さんなに言ってるんだろう？」と理解しようとしている眼差しを見ると、ただならぬ雰囲気をかもしだします。「普通の犬とは違うんだ」と思う瞬間です。

「うちにいて昼寝が趣味でぐうたらしているだけ

ではもったいない!!」「その能力を活かして頑張ってお仕事してきなさい!!」と思うようになったのです。

お別れの日になが決まりますと、毎日呪文のように伝えます。「お母さんがたっぷりの愛情でかわい〜く育てたから、どこに行ってもどんな時でも優しい人達が、お利口ねえ〜って頭をなでてくれるから大丈夫よ!!」って。

飼育奉仕をしていて何より一番嬉しいことは、協会から「アイメイトとなりデビューします」と連絡がくることです。今までに経験したことがない感無量の涙があふれます。飼育奉仕をした人にだけあたえられる最高のプレゼントだと思っています。

まだまだ未知の世界がありそうな予感。頑張ってお仕事を終えた子と縁があれば会えると信じています。その時の為に元気でいなくてはと思っています。

我が家の愛すべき相棒

不適格犬飼育者 井手口 満和さん

ア イメイトにはなれなかったけれども、我が家の一員で愛すべき相棒の話をさせていただきます。今うちの家にいる子は、雄の10歳です。1歳10か月で我が家に来て8年。体長1m、体高60cm、足の長さは40cmの足の長〜いスマートでハンサムな男の子です。色は白に近いイエローです。

ある時公園で幼稚園児の集団がやってきて、犬の名前を教えていたら、引率してきた外国人が正しい発音を教えてくれました。英語の勉強になります(笑)。こんな感じで、色々な人との出会いがあり、又いろんな経験をさせてもらっています。

実は不適格犬を飼うのはこの子で3頭目なんです。みんな賢いんです。会う人から“お利口ですね”“おとなしいですね”と言われるんです。どうして羨をしたのかとよく聞かれるのですが、非常に答えにくい(笑)。

この子が来た時、訓練士さんの指導を受けました。犬は褒められるが私はダメ出しが多かったです。

この素晴らしい相棒といろんなところに掛けます。これは2番目の子との話ですが、ある時、一緒に日光東照宮に出かけました。「犬と一緒にですが」と言うと守衛さんは「OKですよ」の返事。気持ちよく



お参りできました。

また、伊勢神宮にお参りに行った折には、外宮での守衛さんは「犬をその辺に邪魔にならないようつないでください」と言われ、お参りをしました。内宮では橋の手前の守衛室に伺うと、裏にケージがいくつか置いてあり、「そこに入るのであれば使っていますよ」と言っていました。その対応に懐の広さを感じました。

でも、この反対のこともあります。家庭犬やペットであってもどこにでも受け入れられる、そんな寛容な町・成熟した社会になれば良いと思います。

もちろん犬の苦手な人もいますが、犬と共生できる社会になればとの思いで愛情いっぱい育てています。

謙虚に、誠実に、そして誇りを持って。

アイメイト協会歩行指導員 大石佳代さん

私は協会に入って13年目になります。小学校6年生の頃にアイメイト使用者である福沢美和さんの著書に出会ったことがきっかけでこの仕事を目指すようになりました。物心ついたときから犬が大好きだった私は、盲導犬の訓練の仕事は毎日犬に触れて人の役にも立って一石二鳥だ！となんとも安易な考えでありました。その後、紆余曲折ありまして一時期はあきらめていたのですが、やはり自分の好きなことを仕事にしたいと思い、アイメイト協会の採用試験を受けました。

あれから13年、この仕事でたくさんの方と出会いました。その中で日々感じることは、自分はたくさんの人に支えられて仕事をしているのだなということです。今日は、いつも支えてくださっている方々に向けて感謝の気持ちをお伝えさせていただきます。

協会に入る前の私は、晴眼者の世界しか知りませんでした。協会に就職してからというもの、歩行指導を受けにくる皆さんと出会って初めて視覚障害者の世界を知りました。

今考えれば当たり前のことですが、協会に入っても右も左も分からなかった私は、皆さんと接してみても、視力以外のことは私と何も変わらないのだということが分かりました。

さらに驚いたことに、使用者の皆さんは私よりも良くしゃべり、良く動く！なにより、生き生きして、むしろこちらが元気をもらっていました。

歩行指導では、良いこともあれば、うまく指導できない無力な自分を思い知って落ち込んだり、時には生徒さんとぶつかることもあったりで、苦い思いをすることもありました。しかし、そういった生徒さんとのコミュニケーションによって、歩行指導員として、また、人としての大事な勉強になっていると思います。私が歩行指導員になれたのは自分だけの力ではなく、使用者の方々に育てられて歩行指導員にしてもらったと思っています。

あるボランティアの方がおっしゃっていた言葉があります。「ボランティアは嫌々やるものではなく、楽しくやるものだ」私はとても感銘を受けました。

ひとりひとりの力がたくさん集まると大きな力と



なって、協会事業が走り続けていく原動力となっています。

ボランティアの方々とお会いすると、「忙しいのに来てくれてありがとう」「頑張ってるね！」などと私たち職員を気遣ってくれます。その一言でとても温かい気持ちになりますし、「私ももっと頑張ろう！」という気持ちになります。

また、様々な企業や団体がアイメイト協会を支援してくださっています。「もっとたくさんの人に視覚障害者やアイメイトについて知ってもらいたい!」という強い熱意があり、運命共同体になったかのような親近感が湧いてきます。

最後に、いつもそばで私の至らないところをカバーしてくれる同僚、募金をしてくれた通りすがりの人、訓練中にすれ違ったときに「頑張ってるね」と声を掛けてくれた人などなど、いろんな人の支えがあって私は今ここにいます。

これからもこの仕事に対して謙虚に、誠実に、そして誇りを持ってやっていきたいと思っています。これからもアイメイト協会のご支援、ご協力をお願いいたします。



MESSAGE

ボランティアとして当日の運営に参加された方に感想を伺いました。

気分は使用者さんとアイメイトの“SP”

槌谷 昭さん



今年、後援会員になり、大会とお手伝いともに初参加。担当は会場入り口付近での誘導。12時過ぎごろから続々アイメイトたちがこちらに向かってきます。接するのも初めてなので、緊張しながら、アイメイトの表情を見つめていました。歩行スピードがイメージしていたより速かったので戸惑ってしまい、正しく誘導できないケースもありましたが、階段前では使用者さんを安心させるため「6段あります」と説明したところ、「1，2，3」と口ずさんでくれた方もいました。

私の誘導場所には、小池都知事のSP男女2人がいかつい顔で待機中。小池さんが車から降りて私のいるところに来ます。至近距離20センチくらいになり彼女のお顔と皺もついでに拝見。これって“役得”？

大会のイベントは涙あり、笑いあり（主賓の使用者さんのために音だけで笑いをとる芸人を選んだのですね）、ドキドキ感あり（くじ引き）、サプライズあり（小池知事）と盛りだくさんで、楽しいひと時を満喫しました。

来年は、さらに積極的な参加を！

井上 徹さん



アイメイト・デーには初めて参加いたしました。使用者の皆さん、楽しく快適に過ごしていただけたと思います。

小池都知事から始まったスピーチも、皆さんユーモアを交えて上手にまとめていらっしゃったと思います。

私は受付のお手伝いをいたしました。席までの誘導も大切でしたが、トイレに行きたいので連れて行ってくださいと依頼を受けたときにはトイレの中までお連れすることもまた重要な仕事です。

用を足して出てこられるまでアイメイトと一緒に洗面所で待って、そして会場まで戻るのに相当時間がかかりました。

少々人数不足だと感じましたので、来年は男女とも少し人数を増やせば、よりスムーズにご案内ができるのではないかと思います。

来年は60周年記念パーティーが盛大に開催されるようです。会場も広くなり、トイレまでの距離も長くなるでしょう。ぜひとも今回出席できなかった会員の皆様の積極的な参加をお願いします。

初めての参加で、誘導も初体験

鈴木 薫さん（注：鈴木会長と同名同名）



今回初めての参加で誘導も初体験でした。駐車場出入口でワンツー場所への誘導を担当しましたが、駐車場手前の外階段から上ってしまう方がいた時は、そこまで走って行ったり来たりしました。

会の始まりに小池都知事がアイメイトと歩いて入

場されたのは印象的で、マスコミが知事の取材に追われていたことも。

奉仕に携わる方の体験談は参考になることが多く、ユーモアも溢れて楽しかったです。

それにしても何十頭ものアイメイトが一堂に会しても全く静かで…それが最も感心したことでした。



海外でも活躍する アイメイト

今年の夏、シンガポールに住むリーリーさんとアイメイトに会ってきました。今回はいつもアイメイトの健康管理を一手に引き受けている獣医さん姉妹の病院に行きました。「LIGHT OF LIFE VETERINARY CLINIC & SERVICES」という名称で、HDBというシンガポールの8割の人が住むコンドミニアム1階にあります。

シンガポールは高層の建物が多く、大型犬が住むには条件が厳しいそうです。そして、目の不自由な方はどうしても家にこもってしまいがちだそうです。昔の日本と同じですね。

1時に病院に行ったところ、獣医のデニスさんはまだ診療中でしたが、姉のミ歇尔さんがリーリーさんとアイメイトと待っていてくれました。病院の中に椅子を並べて座り、お土産の後援会グッズやカレンダーを渡しました。(カレンダーには英訳を付けました。皆様の中でも英訳が必要な方はご連絡ください。)

ミ歇尔さんとデニスさんは、シンガポールに盲導犬を根付かせて、使用者の方が一人でも多く外に出て活躍するチャンスを増やしたいと願っています。リーリーさんとアイメイトのケアをすることで、アイメイト協会の訓練を知り、シンガポールに適応した盲導犬をケアする方法を学びたいと話していました。楽しみです。

視覚障害者が外出して活躍できるよう シンガポールに盲導犬を根付かせたい

前回の『ミニ通信』67号で「日本からやってきたたった1頭の盲導犬」の記事はご覧いただけましたか？ 私が初めてシンガポールでリーリーさんとアイメイトにお会いした時、通訳に来てくれていた『JPLUS』の編集者ユリアさんの企画で今年初めにシンガポールで載った記事の転載です。この記事をぜひ皆様にも読んでいただきたとユリアさんに転載のお願いをしたところ心よく承諾いただきました。

今回、ミニ通信を持ってお礼に行き、ユリアさん、編集長、記事を書いた佐藤さんの3名にお目にかかりました。彼女が入社して初めて書いた記事だったそうです。

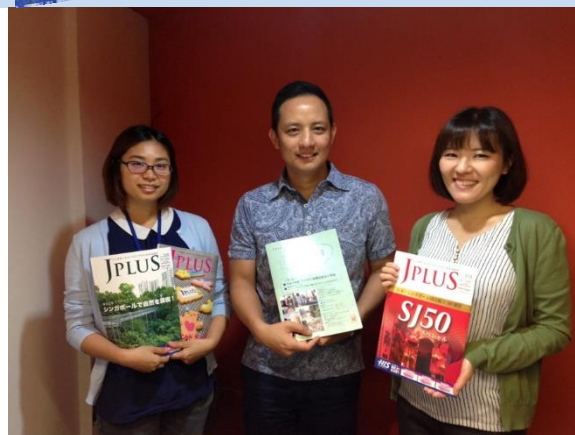
『JPLUS』は、シンガポール在住の日本人向けの日本語の情報誌。日本から転勤している人も多いので、在星の日本人がこの記事を読んで日本のアイメイトがとても優秀で外国でも立派に働いていると誇らしく思っただけだと思います。そして日本に帰ってアイメイトを見かけたら、あの子の仲間だと思い出していただきたいです。

じつは、今度の冬リーリーさんはアイメイトと日本旅行に来るそうです。皆さん、もしかしたら街角で見かけるかもしれませんね。

シンカホールのアイメイト便り③
アイメイト後援会・井上裕子さん



(後列)左から2番目がミ歇尔さん、4番目がデニスさん (前列)井上さんとリーリーさん



『JPLUS』佐藤さん、編集長、ユリアさん(左から)



第23回 青山学院大学同窓祭

平成28年9月22日（木・祝）



あいにくの悪天候の中、青山キャンパスにて青山学院大学同窓祭が開催されました。

後援会の飯島・山田さんを中心に、ガールスカウトOG達のグループ「ティー・ポット」の資金援助により、子供達へのアイメイトの啓発活動を目的として毎年ブースを借りてプログラムを展開しています。ここでは、グッズ販売・点字体験・使用者による盲導犬クイズ・募金・スタンブラリー・リタイア犬との散歩など、楽しい行事が用意されていて、多くの子供たちが参加してくれました。

来年はぜひ晴れてほしいものです。



光が丘ライオンズクラブ合同募金

平成28年10月9日（日）



10月9日に練馬区光が丘駅近くで「光が丘地区祭」が開催され、この会場の一角で「東京光が丘ライオンズクラブ」との合同募金活動と啓発活動を行いました。

協会からは2名の指導員と2頭のアイメイト、後援会からは会員と6頭のおさわり犬が参加し募金活動と啓発運動を展開しました。朝からドシャ降りでしたが、地区祭が始まるお昼にはすっかり雨は上がりました。ライオンズクラブのメンバーさんが、テントの前を扇風機で乾かしてくださったので、アイメイト達は座っても濡れずにすみしました。

LCのメンバーさん、本当にありがとうございました。この光が丘地区は若い家族連れが目立ちました。小さな子供たちがたくさん集まってきて犬たちと戯れ、パパやママ達は我々のアイメイトに関するアピールに聞き入っていました。

本当に雨がやんでラッキーでした。



動物愛護フェアかわさき2016

— どうぶつはみんなともだち —

ちきゅうのなかま

平成28年9月25日(日)
麻生市民館・区役所

川崎市・川崎獣医師会主催で「動物愛護フェアかわさき2016」が開催されました。

広場では動物愛護に関する団体や企業が参加して、「迷子札を作ろう」や「獣医さん体験」「アイメイトデモンストレーション」「聴導犬デモンストレーション」「ペットの防災コーナー」「犬・猫譲渡会」「縁日コーナー」「映画上映」など盛りだくさんの行事が行われました。アイメイト協会からは2名の指導員と2頭のアイメイトが参加、2度の体験歩行を行いました。指導員たちが、アイメイトたちに例えばどうやって空いている椅子を探して教えるのかなどを実演して見せたり、また実際に参加者との体験歩行を多くの観衆の前で行い成果をあげました。

動物愛護フェアと称するだけに、動物好きの特に若い家族が熱心にスピーチを聞き、体験歩行を見て、アイメイトに関する知識を増やしてくれました。使用者3名も参加して募金活動を行い、アイメイト後援会は何人もの会員とおさわり犬2頭とでグッズ販売や募金活動、啓発活動に汗を流しました。たくさんの市民が参加するこの催しへの参加は大変意義深いと感じました。





*は詳細別途掲載

実施日	イベント	場所	参加後援会員・他(敬称略)
7/16(土)～17(日)	喜多方レトロ横丁	喜多方市ふれあい通り商店街	松澤 3
会津喜多方商工会議所の主催。昭和のノスタルジーとロマンがテーマで、大人も子供も楽しめるイベントです。浴衣の無料レンタル＆着付けも人気で、昔懐かしい街並みを再現して盛り上がります。			
8/28(日)	東京パイロットクラブ アイメイトチャリティコンサート	サントリーホール	井上・須網・金澤他
東京パイロットクラブHPより～アイメイト支援を目的に、毎年開催されます。毎回黒田清子様がご出席されて、皇后さまも過去に 2 回お出ましくさいました。コンサートの内容も変化に富みご好評をいただいております。			
9/4(日)	第 4 回チャレンジコンサート & 塩屋賢一とアイメイトの歩み展	古河市とねミドリ館	松澤他 5 名・犬 3 頭
沢山の感動を来場者と分かち合い、来年もまた来ますね、とお客様の声を多くいただきました。			
9/10(土)	聖心女子大学宮代祭	聖心女子大学キャンパス	大熊
いつも触れる犬として参加していた不適格犬のネディーは高齢となり参加できず、予定していた使用者さんも新しいパートナーとの合宿に急きょ入られたので、お客様が犬に会えずにがっかりされていました。動物の力は偉大！と実感しました。			
9/17(土)	川崎橋 LC 合同募金活動	JR 川崎駅構内	小松 2・倉成・長谷川・松澤 2・谷口・水野(晴)・水野(玲)・古川・井上・鈴木 2
川崎駅東口は駅へ向かう人降りてきた人の行き来が絶え間なく、そんな場所でも通路が広くて十分に活動することが出来ます。若者から親子連れやお年寄り、たくさんの方に接し、アイメイトの支援を呼びかけました。			
9/22(木・祝)	青山学院大学同窓祭 *	青山学院大学キャンパス	飯島 2・山田・松澤 2・阿部・井上
9/25(日)	動物愛護フェア川崎 *	川崎市宮前区役所	島田 3・神代・小泉・飯塚・水野(玲)・菅谷・永山・井上
9/25(日)	青葉台福祉祭り	青葉台地区	三村他
地区の社会福祉協議会主催。久しぶりの上天気で真っ赤に日焼けしました。ボランティアの方々に応援して頂きました。			
10/1(土)	なすかしの森ファミリーフェスティバル	那須甲子青少年自然の家	松澤 2・他 1 名
初めての参加で、秋を遊びつくそう、秋を食べつくそうと子供たちが犬達とふれあい私達も楽しんだ一日でした。			
10/8(土)～9(日)	古河関東ド・マンナカ祭り	古河中央運動公園	松澤 2・他 21 名
8 日雨、午後から晴れ、9 日も…雨午後晴れ。手伝ってくれるスタッフと犬達と雨を楽しみ美味しいを楽しんだ 2 日間でした。			
10/9(日)	光が丘 LC 合同募金活動 *	光が丘スポーツ公園	井上 2・福永・長谷川・小島 2・鈴木 2
10/15(土)	江東区民祭り	木場公園	大山・藤井 2・富澤 2・溝井・長谷川・中村 2・鈴木 2
週末二日間のお祭りに私達は土曜日だけ参加です。来場者数は二日間で 44 万人だったそうです！協会指導員による目隠し体験歩行も大人気で、整理券は瞬間に配布終了となりました。グッズもカレンダーはじめ好調な売上で、好天の成果？とも。			
10/20(木)	明治神宮崇敬会わかば会	明治神宮会館	鈴木 2
10/22(土)	ふれあいキャンペーン	西武渋谷店	長谷川・井上 2・金澤 2・大山・倉成・小松 2
今年春にも開催されて、秋の今回は西武渋谷店様からアイメイト協会へ募金贈呈式がありました。いつもの玄関口での体験歩行と社員の皆様ご協力の募金活動やグッズ販売で、昼過ぎから夕方まで後援会員も頑張りました。			
10/23(日)	アイメイトデー *	TKP ガーデンシティ竹橋	お手伝いの後援会員 33 名
11/3(木・祝)	青葉区民祭り募金活動	青葉区総合庁舎周辺	三村・吉岡・松野 他
好天に恵まれ多くの人で賑わいました。ライオンズクラブの全面的なご協力を頂き楽しい一日を過ごしました。募金額も良好でした。			
11/3(木・祝)	城東 LC 合同募金活動	銀座数寄屋橋	長谷川・倉成・大山・小松 2・石川 2・鈴木 2
この日の人通りがかなり多く、交差点でお巡りさんがマイクで注意喚起していました。しかし成果は？…ですが、飼育希望の方が立ち寄って、条件などのお尋ねに対応できたのが大きな収穫との、メンバーの感想でした。			



実施日	イベント	場所	参加後援会員・他(敬称略)
11/3(木・祝)	豊島区明るい社会作りの会バザー	池袋西口公園	飯島・松澤 2・武田・森田・水野(晴)・水野(玲)・春日
今回は飼育奉仕者が 3 名(& 3 頭)も顔を出してくれて人気を集めました！お陰様で募金も上々で、やはり犬にはかなわないと再認識した次第です。			
11/6(日)	京橋・八重洲・みやこ LC 合同募金活動	銀座数寄屋橋	水野(玲)・長谷川・大山・小松 2・井上 ・中村 4・鈴木 2
二日空けての数寄屋橋。前回の雪辱を果たそうと鼻息荒く出向きました。しかし中盤に広い銀座通りをデモの行進が長く続いて、色とりどりののぼり旗やスピーカーの音に「アイメイト募金にご協力を…」の音がトーンダウンしてしまったのは残念！			
11/6(日)	木のくにときがわまつり	埼玉県ときがわ町	篠崎・山田・松澤 2・養田
嵐山ときがわライオンズクラブのご厚意で、昨年に続き 2 回目の参加です。同クラブ販売のコーヒー代金を全て寄付していただきました。お天気にも人にも恵まれた素敵なイベントでした。			

＜委託にてグッズ販売のご協力を頂きました＞

敬称略

- 6 月 ソニー生命(株) 社員斡旋販売
- 7/29 チャリティコンサート(西村晴子)
- 8/21 宮崎わたぼうしコンサート
- 10/15 みまたボランティア祭り(アイメイト使用者 蔵元茂志)
- 10/ 1 東京学館浦安中学校・高等学校 橘華祭 (インターアクト部)
- 10/16 川口ボランティア見本市 (川口モーニングロータリークラブ)



実施予定日	イベント	場所
11/13(日)14 時～17 時	日本橋 LC 合同募金活動	銀座数寄屋橋
11/19(土)14 時～17 時	川崎中央 LC 合同募金活動	川崎駅改札付近
11/20(日)	同窓会レクリエーション	葛西臨海公園
11/24(木)14 時～17 時	川崎橋 LC 合同募金活動	JR 川崎駅東口
12/24(土)開演 13 時	第 2 回(八木橋)チャレンジコンサート	八木橋百貨店カトレアホール

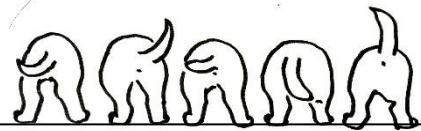
行事の予定は変更になる場合があります。参加の際は鈴木会長までご確認下さい。(03-3878-7353)



東京パイロットクラブ
アイメイトチャリティコンサート



八重洲・京橋・みやこ LC 合同募金活動
銀座数寄屋橋



アイメイト卒業生人数（2016年8月～11月）

期	卒業日	人数
第443期生	10月 1日	4名
第444期生	11月 5日	4名

【累計 1,308名】

アイメイト実働数

256 組

(2016年10月1日現在)

《卒業予定》12月以降、下記のクラスが予定されています。

第445期生	12月10日	4名
--------	--------	----

全国の盲導犬 実働数

966 組

日本盲人社会福祉施設協議会発表
(2016年3月31日現在)



いつも協会事業にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。今日うれしいご報告が2つあります。それは、「卒業実績が1300組を突破！」と「2017年はアイメイト60周年！」です。アイメイト50周年と卒業実績1000組突破を同時に迎えた2007年から、はや10年が経とうとしています。皆さまにこのようなご報告ができることをうれしく思うと同時に、改めて心より感謝申し上げます。

◆60周年を目前に卒業実績が1300組を突破！

アイメイト協会の事業は、いつの時代も多くの方々に支えられてきました。そして今年2016年7月に、卒業実績が1300組を突破しました。アイメイト協会創設者・塩屋賢一が国産盲導犬第一号となるチャンピオンの訓練をして、河相さんの歩行指導を行ったのは1957年。アイメイト60周年を目前に控え、その道のりを振り返りました。

◆日本の盲導犬事業の道のりを振り返る ～スタート～

協会創設者・塩屋賢一が、盲導犬育成を志し、訓練方法を独自に編み出す試行錯誤を始めたのが1948年のこと。盲導犬育成訓練の参考になるような資料は一切ありませんでした。「視覚障害者の歩行を助ける盲導犬を育てたい」という強い信念の元、目隠しの生活を送るなどして、どのようなことを犬に教えれば視覚障害者の歩行に役立つのか、ということを追求め、愛犬と共に体当たりで道を切り拓いてきました。

そして、1957年。河相さんとの出会いがありました。慶應義塾大学の学生だった20歳の時に失明した河相さんは、早い段階から「自立して生きていく」という決心を固めていたと言います。小学校6年生の時に新聞で見た盲導犬のことを思い出して、盲導犬に限るとひらめきました。しかし当時、日本に盲導犬はおらずあきらめかけていました。

そのような折、ご家族の知人である米軍大佐から「盲導犬にしてみよう」と仔犬を譲られ、河相さんはこの犬に賭けてみよう、という思いを抱くようになります。そしてこの犬を盲導犬にしてくれる人物を探して塩屋賢一にたどり着いたのです。この時の仔犬こそ、後のチャンピオでした。



取材に応じる河相さんと塩屋賢一
(左から2番目と3番目)

◆社会への働きかけ

河相さん、チャンピイ、そして塩屋賢一の三者が揃い、国産盲導犬の歴史が幕を開けたのです。国産盲導犬第一号ペア誕生以降、続々と使用者とアイメイトのペアが巣立っていきました。盲導犬育成の試行錯誤を始めた 1948 年当時は奇異の目で見られることがほとんどでしたが、使用者が増えるに従い、盲導犬の存在が社会でも知られるようになってきました。

特に初期の使用者たちは「自分が使用者の代表」、「後に続く視覚障害者のために」という強い気持ちと誇りをもって積極的に社会参加をしてきました。使用者や盲導犬への理解が深まっていなかった時代、使用者、支援者、協会が三位一体となって社会に強く働きかけてきました。

その結果、1977 年に国鉄（当時）の自由乗車が、続く 1978 年にバスの自由乗車が実現しました。その後航空会社、私鉄なども対応を検討し、盲導犬を伴って利用する際の規制が緩和されるという動きが広まっています。飲食店、宿泊施設、図書館なども今は当然に利用できる場所となっていますが、そこには古参の使用者、支援者、協会の強い連帯と地道な啓発活動の積み重ねがあります。

◆後援会の頼もしいご支援

前述の通り、アイメイトの歴史はいつも使用者、支援者と共にあります。ご支援には、繁殖・飼育・リタイア・不適格犬奉仕など、犬の飼育に関わるもの、ご寄付や募金箱の設置、そして後援会員としてのご協力など多くの種類があります。複数にまたがって支えてくださっている方もいらっしゃいます。

ご存知の方も多いかと思いますが、アイメイト後援会の設立は 1973 年に遡ります。一人の大学生・野崎朝光さんが、塩屋賢一のもとで育成事業を手伝ったことがきっかけとなり、賛同者を増やしながら現在に至っています。アイメイト協会の旧称である「財団法人 東京盲導犬協会」の時代で、当時の後援会は「東京盲導犬協会後援会」という名称でした。

創立当初は盲導犬の実働ペア数が 105 組（当会卒 67 組・1973 年 6 月）という頃。まだ盲導犬自体が社会的に認知されていませんでした。手書きのガリ版印刷の資料、協会ロゴマークの入ったベニヤ板造りの募金箱、署名用紙を挟むための首から吊す板など、全てが手作りでした。デパートの屋上でデモンストレーションをしたり、ホテルやレストランにパンフレットを持って飛び込み、アイメイトと一緒に入店することへの理解を求めたりと、ゼロからのスタートの中、使用者、協会に常に寄り添い、歩みを共にしてきてくださいました。1973 年と言えば、先の通り国鉄の自由乗車を実現するより 4 年も前です。その時代から、いつも近いところで強力に支えてくださるのが後援会の皆さまです。アイメイトの歴史、日本の盲導犬事業の歴史を振り返る時、早い時期から頼もしいご支援をしてくださっているアイメイト後援会は、欠かすことができない大切な存在です。これからも、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

◆協会ニュース



アイメイト 60 周年記念ロゴ

来年 2017 年は、アイメイト 60 周年です。記念すべき年として、様々な角度から啓発活動にも取り組んで参ります。こちらは 60 周年の記念ロゴです。

後援会のアイメイトサポートカレンダー 2017 で最初に使っていただきました。

協会建物の補修・改装が終わりました

歩行指導がお休みの 8 月に、経年と共に古くなっていた協会の床、壁、天井などを補修・改装しました。歩行指導で生徒の皆さんが泊まるお部屋、出かける前に基礎訓練をする廊下、食堂など、あらゆる場所が以前よりも明るい印象になりました。今年最後の見学日は 11 月 26 日（土）14 時からです。この機会に、皆さまぜひお越しください。見学日は定員 30 名で予約制です。11 月 22 日（火）9 時よりお電話で予約を承ります。電話：03-3920-6162



明るい雰囲気になった廊下で基礎訓練をするアイメイト候補犬と職員の様子



アイメイト協会の考察と願い



本年 8 月、東京メトロの駅にて、盲導犬を使用している視覚障害者が線路に落ちて死亡する、大変痛ましい事故が起きました。亡くなった方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

毎日のように、事故に関連する事柄が新聞などで報道されています。しかし報道の捉え方は、ホームドアの設置が無かったことや、駅の構造が特別に危険であるかのような内容ばかりです。構造的なことや、声かけなど人の心がけや行動で改善できることはもちろんあるでしょう。しかし、事故原因を明確にするという視点を決して忘れてはなりません。その視点から考察したこと、そしてアイメイト協会の考える安全な歩行やアイメイト(当会出身の盲導犬)の役割についてページの許す限り述べたいと思います。

同様の事故を今後防止するためには、事故の直接的な原因を追求することが不可欠であり、犬の訓練は検証すべきことの一つです。ホームドアが無ければ盲主人が線路に落ちるような状況の発生を許してしまう、そのような訓練自体に問題があると考えからです。それを検証せずに放置すれば、そのような訓練しかされていない犬が盲導犬として活動すること、すなわち事故を誘発しかねない危険な動きを、犬がする可能性があるという状況が、今後も続くということです。駅に限った話ではありません。一般の路上に於いても痛ましい事故が発生する危険があります。

国内には当会を含む 11 の独立した盲導犬育成団体があります。団体により盲導犬の定義は異なり、よって犬の訓練や視覚障害者への歩行指導の内容・水準もまちまちです。当会では、「全盲者が、晴眼者の同行や白杖の併用なしで、犬とだけで単独歩行できる」ことをアイメイト歩行と定義しています。

アイメイトは駅でも一般の路上に於いても、視覚障害者の目の役割をして安全な歩行を助けます。また、犬の訓練と視覚障害者への歩行指導は切り離せないものだと考えています。そこには、視覚障害者の安全な歩行にとって何が実用になるのか、という視点が貫かれています。本来の実用になる訓練をし

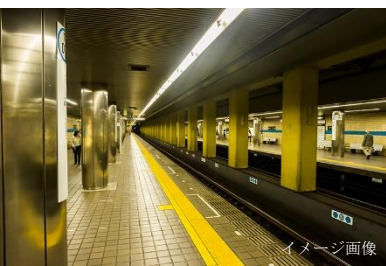
ていれば、盲導犬にとって駅は特殊な場所ではありません。車も自転車も通らないという点から言えば、駅の方が安心できるくらいです。ホームでの歩行でポイントになるのは、線路側を歩く際には常に犬が谷側で人がホームの中心側を歩くように訓練することです。

当会、そして世界中のほとんどの育成団体では、ハーネスの左手持ちとキープレフト(左側通行)を遵守するよう指導しています。そうすれば、島形ホームの場合は常に谷側に犬がいることになります。また、真ん中に線路、その両脇にホームがある形状では、進行方向によって人が外側になる時もありますが、その場合でも線路から遠い左端の壁際を歩くことになります。更にアイメイトの場合、線路側の縁に寄ると危険であることを教えてあります。犬を押さず、犬と並行に歩いていれば転落は起こりえません。

今回の事故があった駅は、真ん中に線路があり、両脇にホームがある構造でした。事故に遭った方はその当時、右手にハーネスを持って自分が線路側を歩き、犬がホーム中心側にいたということでした(=右手持ち・左側通行)。これはハーネスの持ち手を左右に替えることが原因の、危険極まりない行為です。

ハーネスの左右持ち替え(両手持ち)を行っている団体が日本には複数あります。長くなるので具体的なことは書きませんが、左右持ち替えが始まったきっかけを知っているのは、当会代表理事を含めわずかです。そのきっかけは犬の訓練を知らない人の思いつきでした。

盲導犬事業は、視覚障害者の自立した歩行の助けになるものであるべきですし、ペアの安全が何よりも大切であることは言うまでもありません。当会は今までも、そしてこれからも、その基本に忠実に事業を行ってまいります。そして、左右持ち替えを指導している人々には、直ちに危険なことを訂正し、安全について再度よく考えてほしいと思います。痛ましい事故が繰り返されないことを切に願います。



アイメイトサポートグッズショップ

コットンショール

綿 100%

白/黒

ふんわり優しいシワ加工

季節を問わずにご使用できます。

45cm×180 cm(シワ加工状態)



しっぽが揺れる

ピンブローチ

縦 2.5cm

金/銀

各 ¥800



人気急上昇！



ナイロントートバッグ

絵本作家 はせがわ かこ さんのイラスト

優しいラブの横顔に癒されます

厚地のナイロン生地 & 裏地付き

横 36~39×縦 33×底マチ 7cm

(A4 ファイルが入ります)

持ち手 長さ 52cm

¥800

レザー

キーホルダー

牛革製

リングの直径

3cm

¥1,000



2 頭ラブ携帯ストラップ

犬の体長 2.5cm

イエロー & 黒/茶 & ピンク

各 ¥1,000



フック付き

キーホルダー

小ぶりの三連タイプ

イラスト部分直径 1.9cm

¥600



本革ハンドストラップ

色: 金ラブ/銀ラブ

犬の体長 2.5cm

金/銀 各 ¥1,000

しおり

ステンレス製

直径 3cm

¥200



リバーシブルマグバー

両面使用可マグネット

15cm×4 cm

¥400

シール

1 シートに 20 枚

A5 サイズ

15 cm×21cm

¥200



グッズのお申し込みは裏表紙参照＊お買上 2,000 円以上は送料無料（カレンダーも含む）

＊カレンダーのみの場合は、1 部 1,000 円から送料無料です＊

ネットショップは「アイメイトグッズ」で検索！



手編みラブメジャー

直径 5.3 cm
テープの長さ 1.5m
中央を押すと戻ります。
テープの色：白/黒
各 ¥700



手編みラブストラップ

縦横 4.5cm
¥600



手編みラブキーカバー

ラブの大きさ縦 5cm×横 4.5 cm
¥800



手編みラブ鉛筆カバー

カバー縦 4cm
¥800



クリアファイル 2 枚組

表面はクリア部分が多く、裏面は全面写真
(画像は裏面)
各 ¥300



Cセット：紅葉

ラブマスコット

体長 15 cm
チェーンの長さ 16 cm
ボールチェーンでバッグや
ポーチに！
足の裏に肉球の刺繍
黒/白/茶
各 ¥1,600



貯金箱

高さ 18cm
陶器製
¥800



Fセット：雪



アイメイト手ぬぐい

絵本作家 はせがわ かこ さんの愛犬がモデル
綿 100% 反応染めの柔らかな手触り
長さ 90×幅 33cm
¥800



Gセット：黒&黄 飼育犬



ミニレター・ミニタオルなど、その他グッズはお問い合わせください。
お支払いはお振込か代引きで。ネットショップではカード決済も可能です。

2017 アイメイトサポートカレンダー



～収益はアイメイト育成に役立てられます～

アイメイトの子犬誕生からリタイアまでの様々なステージが登場！
A3 見開きサイズ 13 枚の中綴じ仕様
透明プラスチックのホルダー付き

監修：公益財団法人 アイメイト協会
PHOTO：内村コースケ
制作販売：アイメイト後援会



価格：1,000 円/送料無料！

TEL：03-3878-7353 / FAX：03-3675-8588/e-mail：eyemate-goods@jcom.home.ne.jp

アイメイト後援会 グッズ担当：鈴木節子